

別冊 1

みえ県民力ビジョン
第三次行動計画（仮称）
〔中間案〕

（農林水産部関係抜粋分）

令和元(2019)年 10 月

農林水産部

目 次

1 施策の概要	1
2 農林水産部主担当施策	4
147 獣害対策の推進.....	4
153 豊かな自然環境の保全と活用.....	6
253 農山漁村の振興.....	8
311 農林水産業の多様なイノベーションの促進とブランド力の向上.....	10
312 農業の振興	12
313 林業の振興と森林づくり	14
314 水産業の振興.....	16
3 【参考資料】第三次行動計画（仮称）（中間案）	
政策体系の見直し案一覧表.....	18

1 施策の概要

この章では、58の<施策>について記載しています。記載にあたっては、<政策展開の基本方向>（三つの柱）ごとに節を分けた上で、15の<政策>順にまとめています。

- I 「守る」 ～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～
- II 「創る」 ～人と地域の夢や希望を実感できるために～
- III 「拓く」^{ひろ} ～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

●政策体系一覧

※網掛け：農林水産部主担当施策

	政 策	施 策	頁数
I 「守る」 命と暮らしの安全・安心を実感できるために	I-1 防災・減災、国土強 靱化	111 災害から地域を守る自助・共助の推進	46
		112 防災・減災対策を進める体制づくり	48
		113 災害に強い県土づくり	50
	I-2 命を守る	121 地域医療提供体制の確保	52
		122 介護の基盤整備と人材の育成・確保	54
		123 がん対策の推進	56
		124 健康づくりの推進	58
	I-3 支え合いの福祉社 会	131 地域福祉の推進	60
		132 障がい者の自立と共生	62
		133 児童虐待の防止と社会的養育の推進	64
	I-4 暮らしの安全を守 る	141 犯罪に強いまちづくり	66
		142 交通事故ゼロ、飲酒運転0（ゼロ）をめ ざす安全なまちづくり	68
		143 消費生活の安全の確保	70
		144 医薬品等の安全・安心の確保と動物愛 護の推進	72
		145 食の安全・安心の確保	74
		146 感染症の予防と拡大防止対策の推進	76
		147 獣害対策の推進	78
	I-5 環境を守る	151 環境への負荷が少ない持続可能な社会 づくり	80
		152 廃棄物総合対策の推進	82
153 豊かな自然環境の保全と活用		84	
154 生活環境保全の確保		86	

	政 策	施 策	頁数
Ⅱ「創る」 人と地域の夢や希望を 実感できるように	Ⅱ-1 人権の尊重とダイ バーシティ社会の 推進	211 人権が尊重される社会づくり	90
		212 あらゆる分野における女性活躍とダイ バーシティの推進	92
		213 多文化共生社会づくり	94
	Ⅱ-2 学びの充実	221 子どもの未来の礎となる「確かな学力・ 豊かな心・健やかな身体」の育成	96
		222 個性を生かし他者と協働して未来を創 造する力の育成	98
		223 特別支援教育の推進	100
		224 安全で安心な学びの場づくり	102
		225 地域との協働と信頼される学校づくり	104
		226 地域の未来と若者の活躍に向けた高等 教育機関の充実	106
		227 文化と生涯学習の振興	108
	Ⅱ-3 希望がかなう少子 化対策の推進	231 県民の皆さんと進める少子化対策	110
		232 結婚・妊娠・出産の支援	112
		233 子育て支援と幼児教育・保育の充実	114
	Ⅱ-4 三重とこわか国体・ 三重とこわか大会 の成功とレガシー を生かしたスポー ツの推進	241 競技スポーツの推進	116
		242 地域スポーツと障がい者スポーツの推 進	118
	Ⅱ-5 地域の活力の向上	251 南部地域の活性化	120
		252 東紀州地域の活性化	122
		253 農山漁村の振興	124
		254 移住の促進	126
		255 市町との連携による地域活性化	128

	政 策	施 策	頁数
Ⅲ「拓く」 強みを生かした経済の躍動を実感できるように	Ⅲ-1 持続可能なもうかる農林水産業	311 農林水産業の多様なイノベーションの促進とブランド力の向上	132
		312 農業の振興	134
		313 林業の振興と森林づくり	136
		314 水産業の振興	138
	Ⅲ-2 強じんて多様な産業	321 中小企業・小規模企業の振興	140
		322 ものづくり産業の振興	142
		323 Society 5.0時代の産業の創出	144
		324 戦略的な企業誘致の推進と県内再投資の促進	146
	Ⅲ-3 世界の三重、三重から世界へ	331 世界から選ばれる三重の観光	148
		332 三重の戦略的な営業活動	150
		333 国際展開の推進	152
	Ⅲ-4 多様な人材が活躍できる雇用の推進	341 次代を担う若者の県内定着に向けた就労支援	154
		342 多様な働き方の推進	156
	Ⅲ-5 安心と活力を生み出す基盤	351 道路網・港湾整備の推進	158
		352 安心を支え未来につなげる公共交通の充実	160
		353 安全で快適な住まいまちづくり	162
		354 水資源の確保と土地の計画的な利用	164

施策147 獣害対策の推進

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

さまざまな主体がそれぞれの役割分担のもと、獣害対策に取り組み、獣害が減少することにより、人と野生獣との共生社会が実現し、県民の皆さんが安心して暮らし続けられる三重の実現につながっています。

現状と課題

- 獣害対策を集落ぐるみで行う「体制づくり」、侵入防止柵の整備などを行う「被害対策」、捕獲などを進める「生息管理」、捕獲した野生獣を有効に生かす「獣肉等の利活用」に取り組んできた結果、農林水産業の被害金額は着実に減少しています。しかしながら、依然として被害軽減が実感されていない集落があることや、自動車等との衝突事故など生活の安全・安心が脅かされており、さらなる獣害対策の推進が求められています。
- 侵入防止柵の整備後の管理など継続的な獣害対策活動を支援していくとともに、地域の状況に応じたきめ細かな対策を進め、被害防止効果の高い取組にしていく必要があります。
- AI等のICTを活用した効果的・効率的な捕獲の推進や、新たに被害が発生した地域における初期対応の徹底など、状況に応じた捕獲の強化を図っていくことが必要です。
- イノシシについては、豚コレラの感染源となっていることから、捕獲の強化や経口ワクチン散布など、発生源の抑制対策が求められています。
- 管理目標を定め、計画的な生息管理を行うことにより、野生鳥獣による被害を軽減し、人と共生を進めていくことが必要です。
- 捕獲した野生獣のジビエ利用が1割程度に留まっている中、捕獲野生獣のより一層のジビエ利用と農山村地域の所得向上につながる地域資源としての活用が求められています。

新しい豊かさ・協創の視点

集落ぐるみの獣害対策を推進していく中で、地域住民の皆さんが、アクティブ・シチズンとして主体的に取組に参画していただくことで、獣害の減少や住みやすさの向上、さらには農林漁業者の生産意欲の向上や生きがいにもつながり、農林地の維持・再生が進みます。また、獣害対策が進んでいく中で、人びとの地域への愛着が深まり、地域の野生鳥獣との共生の心が芽生え、豊かに暮らすことのできる三重の実現に近づきます。

取組方向

■ **基本事業1 地域に応じた獣害対策による被害防止の推進**

加害獣の種類や被害程度等地域の状況に対応した侵入防止柵整備や環境整備等を進めるとともに、農林水産業・生活被害の防止に関係者と連携して取り組みます。

また、豚コレラの感染拡大防止に向けた野生イノシシの捕獲重点エリアを設定した上で、銃猟を効果的に活用するほか、わな設置数を増やすとともに、ICTの導入により見回り労力の軽減を図るなど、捕獲強化を図ります。

■ **基本事業2 野生鳥獣の生息数管理の推進**

科学的なモニタリングに基づいた生息数管理に取り組みます。特に、サル、ニホンジカ、イノシシによる被害の減少につなげるため、国の「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」（環境省・農林水産省）の方針に基づき、計画的な個体数調整などに取り組みます。

■ **基本事業3 獣肉等利活用の促進**

県が定めた「みえジビエフードシステム衛生・品質管理マニュアル」の普及や「みえジビエフードシステム登録制度」の適正な運用等により、ジビエのさらなる安全性・品質の確保に取り組みます。また、関係市町・団体等と連携して、安定供給に向けた体制の強化や新商品の開発、販路拡大などに取り組みます。

主指標

目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
野生鳥獣による農林水産業被害金額			イノシシ、シカ、サル、カワウ等による農林水産業の被害金額

副指標

目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
イノシシによる被害が減少したと実感する集落等の割合			農業集落代表者アンケートで、イノシシ被害があると回答した集落のうち、イノシシ被害が「前年度より減少した」と回答した集落およびイノシシ被害があるものの「ほとんどない」または「軽微」と答え、かつ「前年度と変わらない」と回答した集落の割合
ニホンジカの推定生息頭数			捕獲頭数、糞粒密度、目撃効率のデータを使用し、生息密度調査（階層ベイズモデル法）により把握したニホンジカの生息頭数
食肉処理施設（みえジビエ登録施設）で解体処理された野生獣の頭数（ニホンジカ、イノシシ）			みえジビエフードシステムに登録された食肉処理施設で解体・処理されたニホンジカ、イノシシの頭数

施策153 豊かな自然環境の保全と活用

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

県民の皆さんやNPO、事業者などさまざまな主体が、生物多様性をはじめとする自然環境を自主的に保全・再生する社会が形成され、三重県の豊かな自然が継承されています。また、県民の皆さんが、自然とのふれあいや自然資源の持続可能な活用を通じて、自然からの恩恵を享受しています。

現状と課題

- NPO等によって自主的に行われている生物多様性の保全活動は広がりを見せており、こうした保全活動が持続的に展開されることが重要です。また、県内の希少野生動植物種の生息・生育状況を継続的に調査し、県民の皆さんと情報を共有するとともに、保全活動者に対して事業者等がサポートする「みえ生物多様性パートナーシップ協定」を進めることで、これまで以上に、持続可能な生物多様性の保全活動を促進する必要があります。
- 県内の野生動植物が置かれている環境は依然厳しい状況から、希少野生動植物種の生息・生育環境の保全に向け、大規模な太陽光発電施設の設置などの開発等に伴う自然環境への影響を軽減していく必要があります。
- 県内各地で、さまざまな活動団体によるエコツーリズムの取組が行われています。引き続き、エコツーリズムの質の向上やガイド等の育成を進めることで、取組を一層広め、定着させる必要があります。
- 県民の皆さんに自然とのふれあいの場を提供するため、自然公園の施設整備や森林公園の適正な維持管理が行われています。引き続き、自然公園施設の整備を進めるとともに、ニーズにあった公園管理やイベントの実施など、利用者の満足度の向上に取り組む必要があります。

新しい豊かさ・協創の視点

県民の皆さんが、豊かな自然環境やそこで生きる動植物にふれあうことは、自然環境や生物多様性の保全意識を高めるとともに、自然からの恩恵を受ける機会となります。また、県民の皆さんが連携して、自然環境や生物多様性の保全活動を進めることで、地域の魅力のさらなる創出はもとより、地域の絆を深めていくことにもつながります。

取組方向

■ 基本事業1 貴重な生態系と生物多様性の保全

生物多様性の保全に対する関心の高まりや大規模な開発の増加など、生物多様性を取り巻く社会状況の変化をふまえ改定した「第3期みえ生物多様性推進プラン」に基づき、新たに自然環境保全上重要な地域について明確化するなど、重要な自然環境や野生生物の保全、豊かな里地・里山・里海の保全、生物多様性への負荷の抑制等、生物が豊かに住める自然環境の保全に向けた取組を進めます。

■ 基本事業2 自然とのふれあいの促進

利用者が安全に自然公園を楽しめるよう、自然公園施設の維持管理に取り組むとともに、老朽化や災害等で修繕が必要な公園施設等の整備を計画的に進めます。また、民間団体等による自然公園等の資源を活用したエコツーリズムの取組を促進します。

主指標			
目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
自然環境の保全活動団体数			絶滅のおそれのある野生動植物種の保全活動および里地・里山・里海等の保全活動を継続している実施団体数の合計

副指標			
目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
希少野生動植物種の保全活動や貴重な生態系の維持回復活動の実施率			県指定および国内希少野生動植物種のうち、特に保護が必要な種に対する保全活動および生態系維持回復活動を実施した割合
自然体験施設等の利用者数			森林公園や自然環境の情報を伝える施設、長距離自然歩道等の自然体験施設の利用者数

施策253 農山漁村の振興

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

地域の魅力を最大限に活用し、心豊かで安心できる農山漁村に、多くの人が住みたい、住み続けたい、あるいは訪れたいと感じ、農山漁村の活性化が進んでいます。

現状と課題

- 農山漁村は、豊かな自然環境、良好な景観や食文化など多彩な地域資源を有していますが、地理的・経済的条件を背景とした人口減少や高齢化に伴う人材不足などから、その魅力を十分に生かしきれていない状況となっています。農山漁村の振興を図るため、これまで「三重まるごと自然体験構想」に基づき三重が誇る豊かな自然を「体験」という形で生かし、交流の促進を図ってきた結果、農山漁村の交流人口の増加につなげることができました。引き続き、「自然体験」を推進するとともに、「食べる」「泊まる」といった魅力を組み合わせるなど、さらなる交流の拡大を図っていく必要があります。
- 農山漁村は、人口減少や高齢化に伴う集落機能の低下により、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の保全、文化の伝承などの多面的機能に支障が生じています。これらの大切な財産である農山漁村の多面的機能を維持・発揮させるには、地域内外のさまざまな主体が参画・協働し、農山漁村における農地・水路・農道などの地域資源の適切な保全管理を行い、農業を継続させることが必要です。
- 頻発・激甚化する自然災害に伴い、農業用ため池における堤体の決壊や、老朽化が進んでいる排水機場の機能低下などから、農村に被害を及ぼすおそれがあります。持続可能な農村における安全で安心な暮らしを守るためには、ハード・ソフトの両面から防災・減災対策を進めることなどが必要です。

新しい豊かさ・協創の視点

農山漁村において、豊かな自然などの地域資源を生かした交流の促進、農地の保全に向けた共同活動などをおして、市町および地域の皆さんと共に、次世代に向けて地域活力を向上させる持続的な取組を進めるとともに、強くしなやかで魅力ある農山漁村の構築に取り組みます。

取組方向

■ 基本事業1 人や産業が元気な農山漁村づくり

国内外の人びとがより長い滞在・交流の促進を図るため、さまざまな主体と連携し農山漁村地域の資源を活用したビジネス創出の取組などを促進します。また、健康の視点を加えリニューアルした「三重まるごと自然体験構想」をさらに促進させ、市町を越えた連携による「食」「泊」を組み合わせた滞在交流の推進や、効果的な情報発信などに取り組みます。

■ 基本事業2 農山漁村の有する多面的機能の維持・発揮

農山漁村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農村地域における農地・水路・農道等の地域資源の保全や景観形成などに向けた共同活動や、中山間地域等における持続的な農業生産活動、環境保全効果の高い営農活動を支援します。

■ 基本事業3 安全・安心な農村づくり

安全・安心な農村づくりを図るため、農業用ため池、排水機場等の老朽化対策および耐震対策等を計画的に進めるとともに、ハードとソフトの両面から防災・減災対策を推進し、地域防災力の向上などに取り組みます。

主指標			
目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
農山漁村の交流人口			農山漁村において、農山漁村の暮らし、食文化、農林水産業等を身近に体験することのできる施設（観光客実態調査対象施設を除く。）の利用者数

副指標			
目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
多面的機能維持・発揮のための地域活動を行う農業集落率			農業集落のうち、農業および農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域活動に取り組む集落の割合
ため池および排水機場の整備により被害が未然に防止される面積			耐震対策および長寿命化の緊急性が高い農業用ため池および排水機場の被害想定面積のうち、それらの整備が進められることにより、被害が未然に防止される面積

施策311 農林水産業の多様なイノベーションの促進とブランド力の向上

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

さまざまな主体によって創出された県産農林水産物の魅力を生かした新たな価値が、多様な商品・サービスとして広く提供されることで、県民の皆さんの豊かな暮らしや「持続可能なもうかる農林水産業」の実現につながっています。

現状と課題

- 食のグローバル化の進展をはじめ、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした新たな需要やインバウンドの拡大、スマート技術の普及など、農林水産業を取り巻く状況が大きく変化する中、農林水産物などの地域資源を活用した競争力の高い商品・サービスの開発や新たな市場の開拓等を、分野横断的なイノベーションの促進や先端技術の導入により加速する必要があります。
- 農林水産物の効率的な生産や品質向上、利用拡大に向け、さまざまな知識・情報・データの共有や組み合わせなどを進め、農林水産技術の開発研究に取り組むとともに、開発した技術を生産現場等へ移転する必要があります。
- 伊勢志摩サミットや東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたプロモーションの実施により、「三重ブランド」をはじめとするストーリー性のある県産農林水産物への関心・評価が高まっていることから、これらが有する本質的な価値に着目したブランド力の向上と消費者等に的確に魅力を伝えていく取組を強化する必要があります。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックへの食材供給やその先の取引拡大に向けて、引き続き、農林水産業の国際認証取得を関係者が一丸となって推進するとともに、供給体制やプロモーションの強化等を図り、認証取得をビジネスチャンスの拡大につなげる必要があります。

新しい豊かさ・協創の視点

三重の食や木の活用を通じて、県民一人ひとりの暮らしの利便性や質の向上等が図られ満足度が高まるよう、さまざまな主体の連携を強化・高度化し、分野横断的なイノベーションの促進や県産農林水産物の特徴を生かした高付加価値化を進めます。

また、地産地消や食育の推進など地域の魅力発信などに取り組むとともに、これらを実践できる多様な人材の確保・育成を図ります。

取組方向

■ 基本事業1 新価値創出と戦略的プロモーションの展開

多分野連携のフードイノベーションの促進やAI・IoTなど先端技術の積極的な活用により、新たな商品・サービスの創出に取り組みます。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの成果等をフル活用した戦略的なプロモーションを、生産者や企業等との連携を強化しながら展開します。

■ 基本事業2 農林水産技術の研究開発と移転

農業・畜産・林業・水産の各研究所において、新しい技術・知恵・情報を組み込みながら、農林水産技術の研究開発に取り組むとともに、開発した技術の農林水産事業者等への移転を進めます。

■ 基本事業3 ブランド力向上の推進

農林水産物のブランド化支援や6次産業化等を担う人材の育成を通じて、新たなブランド力の向上に取り組みます。また、さまざまな主体と連携を図りながら、県産農林水産物が有する本質的な価値に触れる機会を提供します。

■ 基本事業4 農林水産業の国際認証取得の促進と活用

農林水産業の国際認証取得に向けた取組を加速させるとともに、認証を取得した農林水産物の供給体制やプロモーションの強化等を図り、国内外における販路開拓・拡大を進めます。

主指標

目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
「みえフードイノベーション」や新たなブランド認定から生み出される県内事業者の商品等の売上額（累計）			農林水産資源を高付加価値化する「みえフードイノベーションプロジェクト」から生み出された県内事業者の商品等の売上額および新たに「三重ブランド」に認定された事業者の商品等の売上額の合計

副指標

目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
企業等と連携したスマート農林水産業の実践数（累計）			企業等と連携して、生産、加工、流通・販売過程においてスマート農林水産業を実践した件数
県産農林水産物のブランド力向上に取り組む事業者数（累計）			農林水産物のブランド化支援や6次産業化等を担う人材の育成を通じて、新たにブランド力の向上に取り組んだ事業者数
農林水産業の国際認証等を活用した取引件数（累計）			農林水産業の国際認証等（GAP、FSC、水産エコラベル等）を活用した取引件数

施策312 農業の振興

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

県民の皆さんの「食」に対する多様なニーズに応え、安全で安心な農産物が生産され、安定的に供給されることにより、本県農業の持続的な発展と県民の皆さんの健全な食生活の実現につながっています。また、収益性と高付加価値化を意識した農業の戦略的な振興や若者が魅力を感じる働きやすい農業の実現のための取組が進められ、次世代の農業人材が活躍しています。

現状と課題

- 安全・安心な農産物等の安定供給を図るため、三重県の食料自給力の維持向上に努めるとともに、本県の強みである豊かな食材や多様な食文化など「食」の魅力と、伊勢志摩サミットや東京2020オリンピック・パラリンピック等を契機に高まった評価等を最大限に活用し、消費者の皆さんが期待する価値を発揮することで、持続可能なもうかる農業の実現につなげていくことが求められています。
- 農業就業人口に占める65歳以上の割合は75%（平成27（2015）年）と高いことから、本県農業が将来にわたって持続できるよう、TPP11や日欧EPAなどのグローバル化にも対応しつつ、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた、AI・ICT等の活用によるスマート化に取り組みながら、雇用力のある農業法人や次世代農業の主軸となる農業ビジネス人材、新規就農者などを確保・育成していくことが重要です。
- 中山間地域など、担い手が不足し家族農業に支えられている地域では、集落等の地域のつながりも生かしながら、農業経営の共同化を図り、生産性の向上や付加価値づくりを進めることで、多様な担い手の確保につなげていく必要があります。
- 効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けて、担い手への農地集積・集約化等を通じた生産コストの削減や高収益作物への転換等を促進することが重要なことから、引き続き、営農の高度化・効率化に向けた生産基盤の整備を計画的に進めていく必要があります。

新しい豊かさ・協創の視点

県民の皆さんが、多彩な農産物の魅力や農村の美しい景観を身近に感じ、豊かな暮らしを営めるよう、農業および食を支える皆さんとともに、安全で安心な農産物の生産と供給および農業の持つ多面的機能の維持と活用に取り組みます。

また、農業者の皆さんが、働く場として農業に誇りを持ち、未来に展望を描けるよう、新たなチャレンジへの支援や一人ひとりの課題に応じたサポートに取り組みます。

取組方向

■ 基本事業1 持続可能なもうかる農業の実現

国内外の新たな需要を取り込みながら、ブランド米や麦・大豆・飼料用米等水田作物の生産拡大と、野菜の加工・業務用需要や果樹・伊勢茶の輸出への対応など多様な流通に対応できる戦略的な園芸産地の育成などに、ICT等の活用によるスマート化を進めつつ取り組みます。また、稲・麦・大豆の優良種子の生産と安定供給に取り組むとともに、生鮮食料品の安定的・効率的な供給に向け、卸売市場の適正運営を図ります。

■ 基本事業2 持続可能なもうかる畜産業の実現

畜産物の高品質化や生産コストの低減を進めるとともに、国内外への販路拡大の促進や食品事業者と連携したエコフィードなどによる高付加価値化等に取り組みます。また、基幹食肉処理施設の機能充実と必要な施設整備の検討を進めます。

■ 基本事業3 農業の多様な担い手の確保・育成

農地中間管理事業を活用し農地集積・集約化を加速するとともに、雇用力のある農業法人や若き農業ビジネス人材、新規就農者を育成するための取組等を進めます。また、多様な農業経営体や集落営農組織の育成、地域活性化プランの推進等に取り組みます。

■ 基本事業4 強い農業のための基盤づくり

「三重県農業農村整備計画」に基づき、大区画化やパイプライン化などの高度な生産基盤の整備を計画的に進めるとともに、農業振興地域制度や農地転用許可制度の適切な運用により、優良農地の維持・保全を図ります。

主指標			
目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
農業産出等額			農業生産によって得られた農産物、これらを原料とする加工農産物の生産額の合計（農林水産省生産農業所得統計・三重県調べ）（経営所得安定対策等による交付金等を含む。）

副指標			
目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
米、小麦、大豆の自給率（カロリーベース）			県民の皆さんが食料として消費する米、小麦、大豆のうち、県内産により供給が可能な割合
認定農業者のうち、他産業従事者と同程度の所得を確保している者の割合			認定農業者のうち、所得等が500万円以上の経営体が占める割合
基盤整備を契機とした農地の担い手への集積率			パイプライン化など高度な基盤整備を実施した地域における認定農業者等への農地集積率

施策313 林業の振興と森林づくり

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

循環型資源である県産材が社会のあらゆる場面で活用され、林業活動がビジネスとして活発に展開されることにより、森林資源の持続的な活用と育成が進むとともに、県民の皆さんがさまざまな形で森林づくりに参画しています。

現状と課題

- 水源涵養や国土の保全、地球温暖化防止など、森林の持つ公益的機能を十分に発揮させるため、間伐等の森林整備を促進するとともに、市町を主体とした適正な森林の経営管理を円滑に進める必要があります。また、集中豪雨や台風等による豪雨災害が多発するなど、自然災害の発生リスクが高まっており、「災害に強い森林づくり」をより一層進める必要があります。
- 県内の森林資源の大半は、本格的な利用時期を迎えているものの、木材価格の低迷による採算性の悪化などから、その多くが伐採されず、活用されない状況が続いています。一方で、大型合板工場や木質バイオマス発電所の稼働によって合板用途や木質チップ原料の需要は増大しています。このため、森林資源の循環利用による持続可能な森林経営を促進するとともに、森林施業の低コスト化や生産体制の強化を図り、素材生産量の増大に取り組む必要があります。
- 人口減少社会を迎え、住宅着工戸数が伸び悩む中、内装材等木材の建築用途でのさらなる利用促進、公共建築物や商業施設等中大規模の非住宅建築物等の需要の獲得など、新たな販路の拡大に向けた取組を推進し、県産材の需要を拡大していくことが必要です。
- 林業従事者が減少傾向にある中、森林・林業の振興や地域の活性化につなげるため、「みえ森林・林業アカデミー」において、新たな視点や多様な経営感覚を持った人材の確保・育成に取り組んでいます。引き続き、社会状況の変化やニーズに対応した講座を実施し、産学官の連携のもと、次代を担う林業人材を育成していく必要があります。さらに、自伐型林業などさまざまな主体による自立的な林業活動を促進する必要があります。
- 森林は県民共有の財産であるとの認識のもと、森林づくりを社会全体で進めるためには、森林づくりに取り組む活動団体を増加させ、森林環境教育や木育を推進する必要があります。また、指導者や活動団体と学校などをつなぐコーディネート機能の強化や、森林環境教育・木育活動のフィールドや施設の整備、活動指導者の確保・育成が必要です。

新しい豊かさ・協創の視点

中山間地域の貴重な産業である林業を活性化することで、若者やU・Iターン希望者などの働く場を創出するだけでなく、中山間地域の資源を生かした新たな森林・林業ビジネスを創造できる人材の育成や、そこで生活する人びとのつながりや絆を深めることにつなげます。

また、森林づくりにさまざまな形で県民の皆さんが参画するとともに、家庭や子育てにおける「木づかい」を促進することで、森林や木材への親しみが深まり、次世代に豊かな森林を健全な形で引き継いでいく意識の醸成につなげます。

取組方向

■ **基本事業1 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮**

森林の多面的機能を高度に発揮し、持続可能な森林づくりを行うため、森林ゾーニングに応じた適正な森林管理を行うとともに、樹種や林分構造が多様な「構造の豊かな森林づくり」を進めます。また、適切な森林管理を推進するため、森林資源情報の効果的な把握と活用にも努めるとともに、新たな森林経営管理制度を活用した計画的な森林整備を促進します。さらに、頻発する台風や集中豪雨等から県民の命と暮らしを守るため、「災害に強い森林づくり」を進めます。

■ **基本事業2 「緑の循環」の推進と県産材の利用の促進**

利用期を迎えた森林資源を活用し、「植え、育て、収穫し、また植える」緑の循環を確実に進めるため、持続可能な林業生産活動を促進するとともに、林業・木材産業の競争力強化と、暮らしの中のさまざまな場面で県産材が利用されるよう、県産材の利用の促進に取り組みます。

■ **基本事業3 林業・木材産業を担う人材の育成**

森林の適切な管理や林業・木材産業の競争力強化に資する高いスキルを持った人材、地域を担う新たな視点、多様な経営感覚を持った人材の育成および新規就業者の確保に取り組みます。また、市町とともに地域の森林経営を担う、意欲や能力の高い林業事業者の育成に取り組みます。

■ **基本事業4 みんなで支える森林づくりの推進**

「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、さまざまな主体に森林づくりに必要な情報の提供を行います。また、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市町による地域の実情に応じた森林づくりを促進するほか、森林環境教育・木育の総合窓口である「みえ森づくりサポートセンター」を核とした連携促進などの「仕組みづくり」、県民の皆さんが森林の役割や大切さを体感できる活動の「場づくり」、指導者への研修会の開催などの「人づくり」に取り組みます。

主指標

目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
県産材素材生産量			県内で生産される木材の供給量

副指標

目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
公益的機能増進森林整備面積（累計）			森林の公益的機能を高めることを目的として、環境林を中心に県や市町など公的な主体等が実施した間伐等の面積
林業人材育成人数（累計）			「みえ森林・林業アカデミー」などにおいて研修を受講した人数
地域に密着した森林環境教育・木育指導者数			小学校区を単位として、地域の実情に応じて実施する指導者養成講座を受講し、現に活動が可能な森林環境教育や木育の指導者数

施策314 水産業の振興

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

水域環境の保全を図りながら、水産資源の適切な管理や競争力のある養殖業の確立とともに、多様な担い手の確保や水産業者等の経営力の強化などにより、水産業が安定的に継続されることで、県民の皆さんの多様なニーズに応える水産物が供給されています。

現状と課題

- 漁場環境の悪化や資源量の減少、消費者の魚離れなど本県の水産業を取り巻く環境が厳しい中、将来にわたって、漁業が継続的に行われ、漁業者が一定以上の所得を確保できるよう、水域環境の保全を図りながら、水産資源の適切な管理に基づく維持・増大、競争力のある養殖業を確立していく必要があります。
- 漁業就業者の高齢化と減少が急速に進む中、さまざまな世代の漁業者がいきいきと働き、次の世代に確実に継承できる魅力ある水産業を確立できるよう、多様な意欲ある若者が漁業に就業し、漁業者自らが高い付加価値を創出するなど、多様な担い手の確保・育成や水産業者等の経営力の強化を図っていく必要があります。
- 南海トラフ地震など大規模地震発生の緊迫度がより高まるとともに、台風や豪雨など頻発・激甚化する風水害等への対応の強化が求められる中、災害に強く持続的で生産性が高い水産業と安心して快適な漁村を構築できるよう、生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村づくりを推進していく必要があります。

新しい豊かさ・協創の視点

将来にわたって、水産業が安定的に継続されるよう、県、市町、水産事業者および県民の皆さんが連携して、水産業や漁村の持つ多様な役割の発揮に向けた取組を進めます。また、多様な水産業の担い手の確保・育成に向け、漁村への定着を支援する取組を漁業者や関係機関と連携して進めます。さらに、地震や頻発・激甚化する風水害等に対し、漁港で働く人びとが、安心して生産活動に取り組めるよう、水産基盤の整備を進めるとともに、水産業BCP（事業継続計画）の策定に取り組めます。

取組方向

■ 基本事業１ 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の確立

生産が持続的に可能な水産業を確立するため、科学的知見に基づく実効性が高い新たな資源管理体制の構築、海女の主要な漁獲物であるアワビ資源の増大など効果的な栽培漁業の推進、地元漁業者と連携した密漁防止対策等に取り組みます。

また、安全で安心な養殖水産物の安定供給や養殖業の競争力強化のため、養殖環境の保全、AI等のICTを活用した養殖業のスマート化による生産性・所得の向上等に取り組むとともに、三重県真珠振興計画やみえの真珠振興宣言に掲げた生産性・品質向上や海外への情報発信等の取組を着実に進めます。

■ 基本事業２ 多様な担い手の確保・育成と経営力の強化

多様な担い手確保や漁業者の経営力向上のため、漁師塾や真珠塾などによる新規就業者の定着支援、AI技術等を活用した作業の効率化・省力化等による働き方改革の促進、漁業経営体の協業化・法人化などによる若者に選ばれる経営体の育成、「居ぬき」の物件をあっせんするなど事業承継の仕組みづくり等に取り組みます。

また、高い付加価値の創出に向けて、水産物輸出の促進、首都圏等への県産水産物の販売促進、衛生管理の高度化、海女漁業の魅力発信等に取り組みます。

■ 基本事業３ 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築

地震や頻発・激甚化する風水害等からの被害を軽減し、安全で生産性の高い水産業や安心して快適な漁村を構築するため、漁港施設および海岸保全施設の地震・津波対策の実施や、水産業BCP（事業継続計画）の策定、予防保全が必要な施設の計画的な補修・補強、干潟・藻場の再生・保全、漁場の環境改善等に取り組みます。

主指標

目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
漁業産出額			海面漁業（養殖を含む）の産出額

副指標

目標項目	現状値	令和5年度の目標値	目標項目の説明
「浜の活力再生プラン」策定地区における漁業所得の増加率			漁業所得の向上を掲げる「浜の活力再生プラン」の策定地区における漁業所得の増加率
沿岸水産資源の資源評価対象種漁獲量の拡大			本県の沿岸水産資源漁獲量 ^{注1} に占める資源評価対象種漁獲量 ^{注2} の割合
拠点漁港における耐震・耐津波対策を行った施設の整備延長（累計）			県管理の生産・流通拠点漁港における耐震・耐津波対策を行った施設の整備延長

注) 1 海面漁獲量からマグロ類、イワシ類、ブリ類など広域回遊水産資源を除外した漁獲量の直近値。

注) 2 資源解析モデル等を用いた高精度の資源評価に限定。

【参考資料】第三次行動計画(仮称)(中間案) 政策体系の見直し案一覧表

【みえ県民カビジョン・第二次行動計画】

政策	施策	担当
I 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～		
1 防災・減災	111 災害から地域を守る人づくり	防対
	112 防災・減災対策を進める体制づくり	防対
	113 治山・治水・海岸保全の推進	県土
2 命を守る	121 地域医療提供体制の確保	医保
	122 介護の基盤整備と人材の育成・確保	医保
	123 がん対策の推進	医保
	124 こころと身体の健康対策の推進	医保
3 共生の福祉社会	131 障がい者の自立と共生	子福
	132 支え合いの福祉社会づくり	子福
4 暮らしの安全を守る	141 犯罪に強いまちづくり	警察
	142 交通事故ゼロ、飲酒運転0(ゼロ)をめざす安全なまちづくり	環生
	143 消費生活の安全の確保	環生
	144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等	医保
	145 食の安全・安心の確保	医保
	146 感染症の予防と拡大防止対策の推進	医保
	147 獣害対策の推進	農林
5 環境を守る	151 地球温暖化対策の推進	環生
	152 廃棄物総合対策の推進	環生 農対
	153 豊かな自然環境の保全と活用	農林
	154 大気・水環境の保全	環生
5 政策	20 施策	

【みえ県民カビジョン・第三次行動計画(仮称) 中間案】

政策	施策	担当
I 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～		
1 防災・減災、国土強靱化	111 災害から地域を守る自助・共助の推進	防対
	112 防災・減災対策を進める体制づくり	防対
	113 災害に強い県土づくり	県土
2 命を守る	121 地域医療提供体制の確保	医保
	122 介護の基盤整備と人材の育成・確保	医保
	123 がん対策の推進	医保
	124 健康づくりの推進	医保
3 支え合いの福祉社会	131 地域福祉の推進	子福
	132 障がい者の自立と共生	子福
	133 児童虐待の防止と社会的養育の推進	子福
4 暮らしの安全を守る	141 犯罪に強いまちづくり	警察
	142 交通事故ゼロ、飲酒運転0(ゼロ)をめざす安全なまちづくり	環生
	143 消費生活の安全の確保	環生
	144 医薬品等の安全・安心の確保と動物愛護の推進	医保
	145 食の安全・安心の確保	医保
	146 感染症の予防と拡大防止対策の推進	医保
	147 獣害対策の推進	農林
5 環境を守る	151 環境への負荷が少ない持続可能な社会づくり	環生
	152 廃棄物総合対策の推進	環生 農対
	153 豊かな自然環境の保全と活用	農林
	154 生活環境保全の確保	環生
5 政策	21 施策	

II 「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

1 人権の尊重と多様性を認め合う社会	211 人権が尊重される社会づくり	環生
	212 あらゆる分野における女性活躍の推進	環生
	213 多文化共生社会づくり	環生
2 学びの充実	221 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	教育
	222 人・自然の中で伸びゆく豊かな心の育成	教育
	223 健やかに生きていくための身体の育成	教育
	224 自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進	教育
	225 笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり	教育
	226 地域に開かれ信頼される学校づくり	教育
	227 地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実	職企
	228 文化と生涯学習の振興	環生
3 希望がかなう少子化対策の推進	231 少子化対策を進めるための環境づくり	子福
	232 結婚・妊娠・出産の支援	子福
	233 子育て支援と家庭・幼児教育の充実	子福
	234 児童虐待の防止と社会的養育の推進	子福
4 スポーツの推進	241 競技スポーツの推進	地連 国体
	242 地域スポーツと障がい者スポーツの推進	地連 国体
5 地域の活力の向上	251 南部地域の活性化	地連 南部
	252 東紀州地域の活性化	地連 南部
	253 中山間地域・農山漁村の振興	地連
	254 移住の促進	地連
	255 協創のネットワークづくり	環生
	256 市町との連携による地域活性化	地連
5 政策	23 施策	

II 「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

1 人権の尊重とダイバーシティ社会の推進	211 人権が尊重される社会づくり	環生
	212 あらゆる分野における女性活躍とダイバーシティの推進	環生
	213 多文化共生社会づくり	環生
2 学びの充実	221 子どもの未来の礎となる「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の育成	教育
	222 個性を生かし他者と協働して未来を創造する力の育成	教育
	223 特別支援教育の推進	教育
	224 安全で安心な学びの場づくり	教育
	225 地域との協働と信頼される学校づくり	教育
	226 地域の未来と若者の活躍に向けた高等教育機関の充実	職企
	227 文化と生涯学習の振興	環生
	228 文化と生涯学習の振興	環生
3 希望がかなう少子化対策の推進	231 県民の皆さんと進める少子化対策	子福
	232 結婚・妊娠・出産の支援	子福
	233 子育て支援と幼児教育・保育の充実	子福
4 三重とこわか国体・三重とこわか大会の成功とレガシーを生かしたスポーツの推進	241 競技スポーツの推進	地連 国体
	242 地域スポーツと障がい者スポーツの推進	地連 国体
5 地域の活力の向上	251 南部地域の活性化	地連 南部
	252 東紀州地域の活性化	地連 南部
	253 農山漁村の振興	農林
	254 移住の促進	地連
	255 市町との連携による地域活性化	地連
5 政策	20 施策	

III 「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

1 農林水産業	311 農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出	農林
	312 農業の振興	農林
	313 林業の振興と森林づくり	農林
	314 水産業の振興	農林
2 強んで多様な産業	321 中小企業・小規模企業の振興	雇用
	322 ものづくり・成長産業の振興	雇用
	323 「食」の産業振興	雇用
	324 地域エネルギー力の向上	雇用
	325 戦略的な企業誘致の推進と県内再投資の促進	雇用
3 世界に開かれた三重	331 国際展開の推進	雇用
	332 観光の産業化と海外誘客の促進	雇用 観光
	333 三重の戦略的な営業活動	雇用
4 雇用の確保と多様な働き方	341 次代を担う若者の就労支援	雇用
	342 多様な働き方の推進	雇用
5 安心と活力を生み出す基盤	351 道路網・港湾整備の推進	県土
	352 公共交通の確保と活用	地連
	353 安全で快適な住まいづくり	県土
	354 水資源の確保と土地の計画的な利用	地連
5 政策	18 施策	

III 「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

1 持続可能なもうかる農林水産業	311 農林水産業の多様なイノベーションの促進とブランド力の向上	農林
	312 農業の振興	農林
	313 林業の振興と森林づくり	農林
	314 水産業の振興	農林
2 強んで多様な産業	321 中小企業・小規模企業の振興	雇用
	322 ものづくり産業の振興	雇用
	323 Society 5.0時代の産業の創出	雇用
	324 戦略的な企業誘致の推進と県内再投資の促進	雇用
	325 戦略的な企業誘致の推進と県内再投資の促進	雇用
3 世界の三重、三重から世界へ	331 世界から選ばれる三重の観光	雇用 観光
	332 三重の戦略的な営業活動	雇用
	333 国際展開の推進	雇用
4 多様な人材が活躍できる雇用の推進	341 次代を担う若者の県内定着に向けた就労支援	雇用
	342 多様な働き方の推進	雇用
5 安心と活力を生み出す基盤	351 道路網・港湾整備の推進	県土
	352 安心を支え未来につなげる公共交通の充実	地連
	353 安全で快適な住まいづくり	県土
	354 水資源の確保と土地の計画的な利用	地連
5 政策	17 施策	

15 政策(合計) 61 施策(合計)

行政運営	担当
1 「みえ県民カビジョン」の推進	職企
2 行財政改革の推進による県行政の自立運営	総務
3 行財政改革の推進による県財政的的確な運営	総務
4 適正な会計事務の確保	出納
5 広聴広報の充実	職企
6 情報システムの安定運用	地連
7 公共事業推進の支援	県土
7 施策	

15 政策(合計) 58 施策(合計)

行政運営	担当
1 「みえ県民カビジョン」の推進	職企
2 行財政改革の推進による県行政の自立運営	総務
3 行財政改革の推進による県財政的的確な運営	総務
4 適正な会計事務の確保	出納
5 広聴広報の充実	職企
6 スマート自治体の推進	総務
7 公共事業推進の支援	県土
7 施策	